

# ITAM Ver5.7.1.5 対応内容



株式会社コア  
プロダクトソリューションカンパニー  
営業統括部  
2019年9月

# ITAM Ver5.7.1.5 パッチ 対応内容

## ◆ITAM Ver5.7.1.5の対応内容

### 1. インポートの仕様変更

末尾にスペースがある場合のインポートの仕様変更

### 2. インベントリ収集スケジュールの不具合修正

インベントリ収集スケジュールの「インベントリ最終送信時から一定期間経過時」の不具合修正

# 1. インポートの仕様変更

・ 末尾にスペースがある場合のインポートの仕様変更のご説明

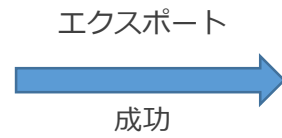
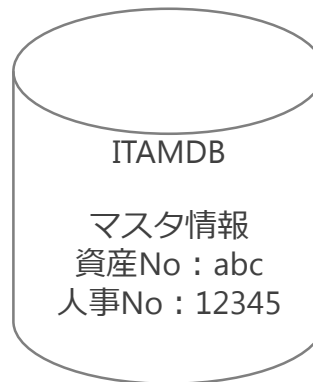
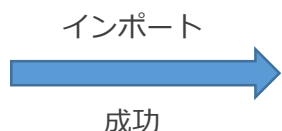
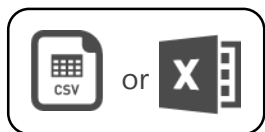
## 前提：ITAMのデータをエクスポートして、他システムにインポートする運用をしている場合

ITAMに登録しているマスタ情報と資産のリレーションをインポートする際、マスタ情報の末尾にスペースがある状態でインポートを実行すると、データの登録に成功しておりました。今回の仕様変更で上記をエラーとするようにいたしました。

例) ITAMに資産No : abc、人事No : 12345で登録されています。そこに資産No : abc-人事No : '12345\_'<sup>※1</sup> としてインポートした場合。 ※1 「\_」はスペースを示します。

### 修正前

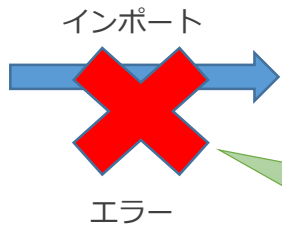
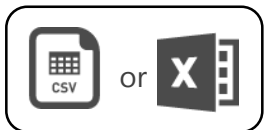
資産No : abc  
人事No : '12345\_'



資産No : abc  
人事No : '12345\_'

### 修正後

資産No : abc  
人事No : '12345\_'



マスタ情報の人事No : 12345と  
インポートの人事No : '12345\_'が異なるためインポートに失敗します。  
つまり、人事No : '12345\_'がエクスポートされることもございません。

インポート時に人事No : '12345\_''としたため、エクスポート時も人事No : '12345\_''で出力されます。人事Noの末尾に半角スペースがあるため、**他のシステムにインポートした際、エラーになってしまう**場合がございます。

## 2. インベントリ収集スケジュールの不具合修正

・インベントリ収集スケジュールの「インベントリ最終送信時から一定期間経過時」の不具合修正に関するご説明

**前提：インベントリ収集スケジュールを複数設定して、尚且つ、「一定期間経過時に再スキャンを行う」の設定を有効にしている場合**

修正前は、スケジュール①のインベントリ収集時を起点として、「一定期間経過時に再スキャンを行う」が動作しておりました。

修正後は、直近のインベントリ収集時を起点として、「一定期間経過時に再スキャンを行う」が動作するように修正いたしました。

例) スケジュール①：一定期間経過時に再スキャンを行う：1週間  
スケジュール②：PC起動時

直近ではスケジュール②でインベントリが収集されているが、スケジュール①を起点に「一定期間経過時に再スキャンを行う」が動作する。

修正前

	2019/9/5	2019/9/6	2019/9/7	2019/9/8	2019/9/9	2019/9/10	2019/9/11	2019/9/12	2019/9/13	
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
スケジュール①	☆	→						☆		
スケジュール②		☆								

修正後

	2019/9/5	2019/9/6	2019/9/7	2019/9/8	2019/9/9	2019/9/10	2019/9/11	2019/9/12	2019/9/13	
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
スケジュール①	☆								☆	
スケジュール②		☆	→							

☆：インベントリ収集時

直近ではスケジュール②のインベントリ送信されているためスケジュール②を起点に「一定期間経過時に再スキャンを行う」が動作する。